

「自然災害伝承碑の地図化を通じた 国土地理院 災害教訓の周知・普及」の取組

取組目的

国土地理院では、令和元年度から災害教訓の伝承に関する地図・測量分野からの貢献として、過去の自然災害に関する石碑やモニュメントなど「自然災害伝承碑」を地形図等に掲載していきます。これにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。

「自然災害伝承碑」とは？

- ◆ 過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメント。
- ◆ これら自然災害伝承碑は、当時の被災状況を伝えると同時に、当時の被災場所に建てられていることが多く、それらを地図を通じて伝えることは、地域住民による防災意識の向上に役立つものと期待されます。



自然災害伝承碑
(復興記念：長野県松川町)



新たに制定した地図記号「自然災害伝承碑」を地図に掲載し、かつて自然災害が発生した地域であることを示します。

※画像はイメージです。

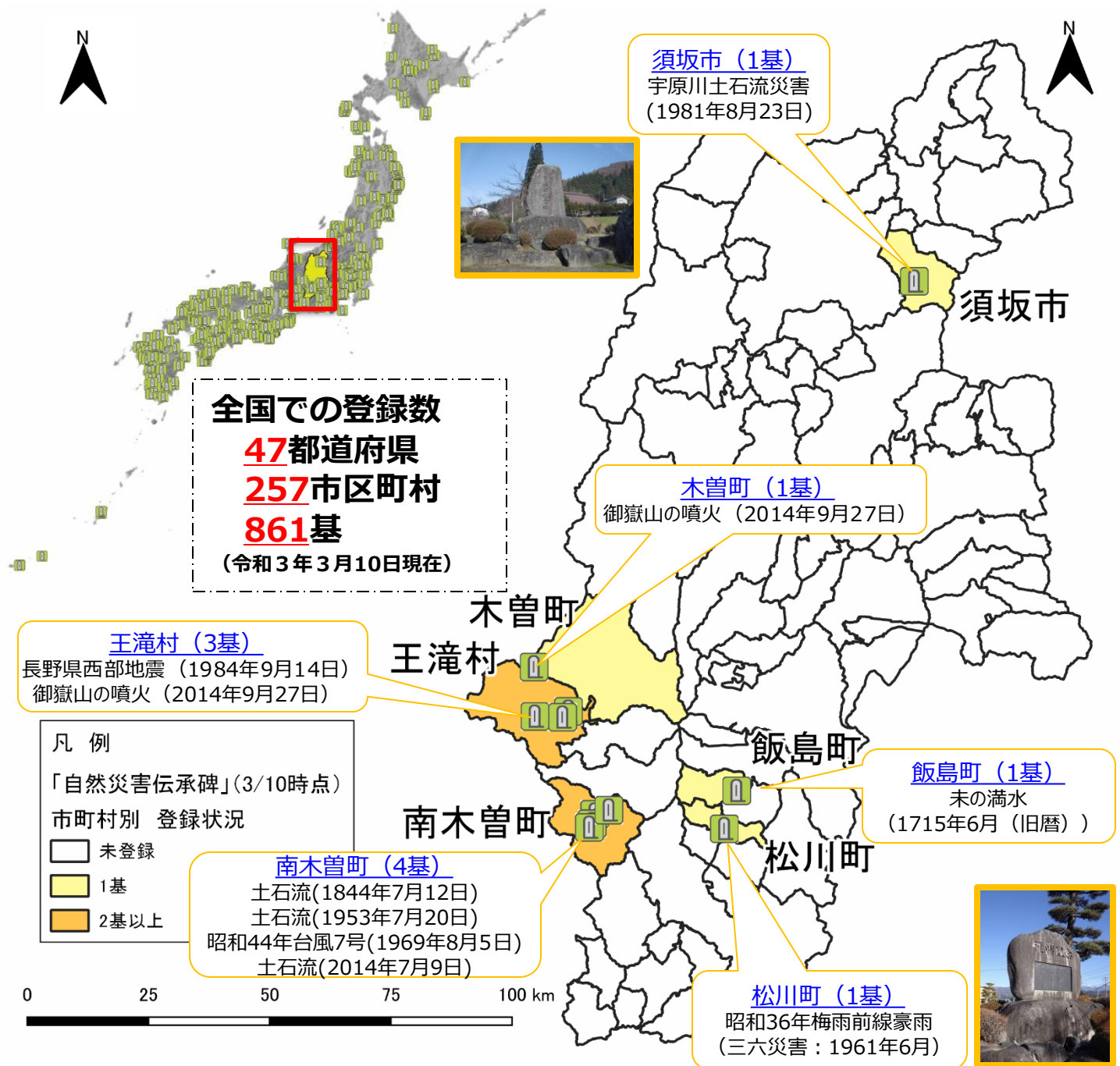
表示イメージ

国土地理院では、令和元年6月から「地理院地図」において、全国各地に建立されている自然災害伝承碑に関する情報（位置や伝承内容など）を公開しています。



概要	
碑名	御嶽山噴火災害犠牲者慰霊碑
災害名	噴火 (2014年9月27日)
災害種別	火山災害
建立年	2017
所在地	長野県木曾郡王滝村
伝承内容	平成26年(2014)9月27日、御嶽山が噴火。人知を超えた自然の容赦ない猛威により登山者らが巻き込まれ、58名の尊い命が奪われ、5名の足取り途絶え生還叶わぬ、火山史上希にみる噴火災害となった。

ID:20429-001



- 長野県内では、11基の「自然災害伝承碑」を登録し、国土地理院HP（「地理院地図」）から公開しています。
- 現在、発災から60年となる三六災害（1961年6月）の碑について、関係する市町村等と協力し、本年6月公開に向けて調整を行っています。
- 「自然災害伝承碑」に関わる情報、申請に関して相談がありましたら、下記担当まで連絡をお願いします。